

 評価のポイント

CL-Ⅱ. 看護実践能力：ケアする力

〔17-2〕重症心身障害児のケアの実際（姿勢管理・拘縮予防・褥瘡予防）

1. 重症心身障害児に起こりやすい皮膚トラブルをあげてください

1.スライド 4 に挙げている皮膚トラブルを答えることができれば良いです。それに加えて、予防するためのケア（スライド 5）と関連づけて考えることができればなお良いです。

2. 筋緊張が亢進した時のケアを考えてみてください

2.スライド 12 の筋緊張を誘発する原因に関連づけながら、スライド 14 の筋緊張を緩和するためのケアを述べることができると良いです。

3. 重症心身障害児にとって、なぜ姿勢管理が重要なのかを考えてみてください

3.スライド 16と17に示している重症心身障害児の身体変形の特性とアセスメント項目を理解したうえで、各体位（腹臥位、坐位など）のメリットを述べることで良かったら良いです。さらに、重症心身障害児の成長発達に姿勢管理がどのように影響しているのかを考えられると良いです（例えば、坐位になることで視野が広がり、遊びや学習を行いやすくなることや、坐位になることで車いすやストレッチャーに座りやすくなり、外出の機会が増えるなど）。